

市報

きよせ



みんなの力で大江戸線を清瀬市へ

No.1447 毎月1日・15日発行

令和8年
(2026年)

1月1日号

市ホームページ
はこちら↓



清瀬のいまを深掘り!!
more!
KIYOSE City Promotion Magazine



←過去の
バックナンバー
はこちら

毎奇数月15日発行の『more! KIYOSE』全戸配布中!

発行:清瀬市 編集:経営政策部シティプロモーション課 〒204-8511 清瀬市中里五丁目842番地 042-492-5111(代表) FAX 042-492-2415 Mail:kouhou@city.kiyose.lg.jp

謹賀新年 午



市役所屋上から撮影

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆さんにはご健勝にて新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また平素より市政運営にご理解とご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。

さて、旧年は10月に市制施行55周年を迎えたのを機に、記念映画の制作や観光協会による地域産品の開発などの各種プロモーション事業を実施したほか、自走式水洗トイレカーを導入するなど防災力の強化にも取り組んでまいりました。

11月に開催した清瀬結核サミットでは、秋篠宮皇嗣妃殿下に御臨席を賜り、清瀬と結核との関わりの歴史の紹介や市内在住・在学の中高生から成る清瀬結核サミットアンバサダーの皆さんによる意見発表を行いました。

本年は、市の最上位計画である「第5次清瀬市長期総合計画」を策定し、今後10年の施策方針を掲げるとともに、「清瀬駅周辺の未来構想ビジョン」を策定いたします。また、2月に南部児童館等複合施設(愛称「まつぼっくる」)と中央公園の一部が、10月には中央公園が全面オープンするなど、さらなるにぎわいの創出を図り、選ばれるまち清瀬を目指して、将来にわたって発展を続けられるよう全力で取り組んでまいります。

本年が市民の皆さんにとって喜びと笑顔あふれる年となりますよう心から祈念申し上げます。



清瀬市長
溝口 桂司

明けましておめでとうございます。市民の皆さんには、新春をお健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会の活動へのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

市議会は、市民生活を支え、さらなるまちの発展を目指して諸課題に的確に対応してまいります。また、議会がより身近な存在となるよう努め、市民の皆さまの負託に応えるべく、一層活動を充実させてまいります。

さて、本年は、南部児童館等複合施設(愛称「まつぼっくる」)が2月にオープンを迎える予定です。この新しい施設は、国立看護大学校様と協定を結び一体整備を行う中央公園とともに建設され、児童館、図書館、市民センターといった機能が集約された複合施設として、世代を超えた交流の場を提供します。多くの方々に親しまれ、清瀬市を象徴する場所となることを期待しております。

また、令和8年度は、「第5次清瀬市長期総合計画」が策定され、次の10年を見据えたまちづくりが始まります。これまでのまちづくりの歴史と経験を礎に、次の世代に誇れる清瀬市を築いていくことが、市議会の使命であると考えております。

結びに皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



清瀬市議会議長
森田 正英